



- 会長／林 裕彦
- 副会長／佐伯克己・瀬戸雅三
- 幹事／太田博久
- R 情報(会報)委員長／上條英雄

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939
URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2859 回例会 2019 年（平成 31 年）1 月 22 日(火)

点 鐘：林 裕彦
 司 会：小口泰史
 斉 唱：それでこそロータリー
 ラッキーNo：NO. 33 小口国之



誕生祝

会長挨拶

皆さん、こんにちは！

本日午前 1 時半頃、台湾埔里ロータリークラブ訪問団 23 名が帰岡いたしました。参加された会員の皆様は、まだ眠くお疲れの所と思いますが、60 周年の PR が成功裡に行われ、私も安心している所であります。皆様の御協力の賜と深く感謝申し上げます。また、中国語のスピーチにつきましては事務局の伊藤さんと友人の山岡さんには色々お骨折りをいただきありがとうございました。訪問する度に埔里 RC の皆さんの歓迎ぶりがヒートアップしていくようで、熱烈歓迎にただただビックリ感動で、今まで先輩方が築き上げてこられた友好の絆の深さを改めて感じた次第です。1 年や 10 年では決して作り上げる事ができません。また、この訪問の報告につきましては国際奉仕委員会の皆さんより、後日行われますので楽しみにしててください。尚、埔里 RC より皆さんへ、そして参加した私たちよりお土産がございますので、お帰りにお持ちくださるようお願いいたします。

留守中、青少年委員会を中心に岡谷シルクファクトに於いて、ロータリーデーと称し子供さんたちとロータリー財団に関連した事業をしていただきました。本当に御苦勞様でした。きっと良い成果が得られたことと思います。ありがとうございました。大変簡単ではございますが会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

会長報告

- 埔里 RC に訪問した際バナー交換をいたしました。回しますのでご覧ください。

幹事報告

- 次週 1/29(火)は休会です。
- ポリオ撲滅の資料をお配りしました。諏訪グループの事業として 5/11(土)にポリオ撲滅チャリティーゴルフが開催される予定です。メンバーには改めてポリオ撲滅についての認識をしていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします

委員会報告

社会奉仕委員会 書き損じハガキの回収を 2 月末まで行います。未投函でしたら何でも結構です。100 枚を目標としておりますので御協力よろしくお願いいたします

国際奉仕委員会 埔里RCのミッションを終え、今朝 23 名全員無事に帰ってまいりました。感謝申し上げます。ありがとうございました。



卓話「江黒のルーツについて」 新会員 江黒寛文会員

本日は、このような貴重な時間を頂きありがとうございます。私は株式会社エグロの江黒と申します。昨年 10 月より岡谷ロータリークラブに入会させていただきました。

今日は、江黒のルーツについてお話をしたいと思います。

私のおじいさんは、江黒甚平と申します。岡谷ロータリークラブでもたいへんお世話になりました。丁度、先週の土曜日に 27 回忌を親戚、家族で行いました。そこで聞いた話も含め、これから話す内容は正しくないかも知れませんがご了承ください。

甚平さんは、1907 年(明治 40 年)に埼玉県の農家に生まれました。

埼玉県の北西にある美里町の農家です。私が子どもの頃、おじいさんの実家に一度行った記憶があります。実家の 2 階では、お蚕さんを飼っていました。その実家の子供が、お蚕さんを私の妹の頭に載せて、妹が泣いた記憶があります。美里町は、製糸業で栄えた群馬県に近く桑畑がたくさんありました。江黒の先祖は、源氏の武蔵の国の武将猪俣小平六に仕えた武士といわれています。猪俣小平六は、源義朝(よしとも)、頼朝の父の家来です。甚平さんは、7 人兄弟の次男です。尋常小学校卒業後、東京、えびすの活版印刷機の仕事の丁稚になりその後、旋盤工の技術を習得し、1937 年(昭和 12 年)30 歳の時に板橋区に旋盤、フライス盤を製造する会社を同じように埼玉から丁稚に来ていた兄弟達と設立しました。当時は、海軍省の仕事もしていたようです。ちょうどこの頃、私の父も誕生し、現在も会社の創立記念日は父の誕生日になっています。

1941 年(昭和 16 年)太平洋戦争が始まり、戦火が東京にも及ぶようになると、私の父や父の姉は埼玉の実家に疎開しました。そして 1944 年(昭和 19 年)、東京の空襲が酷くなり 37 歳のときに一家で疎開を決めました。当時の従業員の出身地の諏訪か千葉県茂原市のどちらかと考えていたようです。もし茂原市に疎開していたら、私はこの世に存在していません。そして板橋の工場や機械を売り、体ひとつで下諏訪に来ることになりました。このとき機械を引き取ってくれたのが、片倉工業さんでした。今、推測すると岡谷出身の従業員さんが、片倉さんに声をかけてくれたのかも知れませんが、機械とともに諏訪に来た甚平さんは、旋盤の加工、旋盤加工の指導、機械のメンテナンス、工業高校で旋盤の指導などいろいろな事をして生計をたて始めました。当時の岡谷は製糸業から精密産業に切り替わるころだったので、活躍の場があったのかもしれませんが、キタリモノと言われ、見知らぬ土地でたいへん苦勞したと思います。1948 年(昭和 23 年)41 歳で、諏訪で知り合った仲間と旋盤を製造する江黒鉄工所を下諏訪で再開させました。1956 年(昭和 31 年)49 歳、岡谷市御倉町の現在の場所に工場を移転しました。片倉工業の製糸工場跡地を岡谷市から工場

誘致を受けた第 1 号と聞いています。甚平さんは消極的だったようですが、私のおばあさんの治子さんが尻を叩いたようです。年商の何倍もの投資になります。治子さんは、先見とすごい度胸があったと思います。下諏訪町の工業史の本を見ると、下諏訪から岡谷に移転したことが、江黒鉄鋼問題として載っていました。事業所を移すというのは地域にとって大問題になります。ちょうど高度成長時代が始まったのもこの頃です。当時ベンチレースと呼ばれる小型の旋盤は、かなり売れたようです。今でもお客様の年輩の社長さんからは、エグロのベンチレースを買って奥さんと二人で事業を始め会社が大きくなった。順番待ちだったベンチレースを甚平さんをお願いして融通してもらったという話を聞きます。2012年に諏訪市から出版された諏訪市工業史に、進士製作所(サンエスケート)、上原製作所とともに江黒鉄工所は、疎開3羽カラスと書かれていました。ついにキタリモノが3羽カラスと呼ばれるようになりました。

私は28歳でエグロに入り、甚平さんは、その1年後、今から27年前に亡くなってしまいましたが、今でも地元の皆さん、ユーザーさんからおじいさんの名前が聞くことがあります。そんな時、改めておじいさんは、すごい人物だったと思い知らされます。農家から東京にでて、技術をつけて起業、戦争で廃業、そして疎開先で再起業、現在では想像もできない苦労があったと思いますが、岡谷の皆様を受け入れられ、今でもとても感謝していると思います。

会社の経営は、甚平さんの長男の父、次男のおじ、三男のおじと引き継がれ、自分の番となりました。甚平さんが起業した時から作る機械は変わってきましたが、事業自体は工作機械一筋です。60年前に生産を開始した汎用旋盤は今も同じ設計で生産しています。世の中の景気に左右される仕事ですが、長く機械を使ってくださるお客様のためにも、事業を継続できるよう頑張っています。

最後に、これからロータリー活動をとおして、今まで直接的には無縁だった社会貢献をしながら自分自身も成長していきたいと思っています。今後ともご指導をよろしくお願いします。ありがとうございました。

ニコニコボックス

江黒寛文 本日の卓話、よろしくお願いします。

竹村一幸・大橋正明・中村文明 国際奉仕委員会です。台湾埔里RC訪問 23名、今朝1:30分無事帰りました。御協力ありがとうございました。

梅垣和彦・小口 隆・小林大介・佐藤有司・林 裕彦・宮坂宥洪・宮澤由己・守屋麻里・矢島 進 台湾に行っていました。埔里RCに熱烈歓迎を受けました。

今井康善・牛山幸一・太田博久・小口泰史・小口裕司・上條英雄・北澤洋之介・薩摩 建・瀬戸雅三・高木昭好・高木克彦・中嶋孝一・中畑隆一・濱 毅・濱 俊弘・林 尚孝・林 裕彦・林 靖高・平沢清文・宮坂晃介・宮坂 伸・山岡俊幸・山岸邦太郎・山崎典夫・吉村栄二・小口国之 埔里RC訪問の皆様、お疲れ様でした。お土産ありがとうございました。

江黒会員、本日は卓話楽しみにしています。

出席報告

会員数46名、出席者38名、出席率88.37%、前々回訂正81.4%

2018-2019 岡谷ロータリークラブテーマ

「共に前へ繋いで行こう」



2018-2019 年度RIテーマインスピレーションになろう

BE THE INSPIRATION

